

1. 令和3年度高浜市予算編成の基本的な考え方について

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の大幅な減収を見込んでおり、いまだかつてない極めて厳しい予算編成となる。長期的な視点に立ち、歳入・歳出両面からの徹底した見直し及び経常的経費の削減にチャレンジしていく。

○ 新たな日常へのチャレンジ予算

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響への対応
- (2) 感染症収束後を見据えた徹底した見直しと経常的経費の削減
- (3) 重点取組事業への財源配分

○ 重点取組事業への財源配分

1. 新型コロナウイルス感染症の影響に対する事業
2. ICTを活用した行政サービスの推進につながる事業
3. 公共施設総合管理計画の推進につながる事業
4. 安心な子育て環境につながる事業

2. 令和3年度教育委員会予算編成方針について

スローガン ～わかる、しかし、高浜市の未来のために絞り込もう～

○ 基本的な考え方

- ① 本市がコロナ禍において、市税の大幅な減少などいまだかつてない厳しい財政状況に置かれていることを十分に認識すること。
- ② 教育委員会としては、特に、GIGAスクール構想推進、エアコンの稼働及び高浜小学校等整備事業に係る経費に加えて、今後学校施設の老朽化に伴う大規模改修工事が続いていくことを考慮し、令和3年度は事業費の絞り込みに果敢にチャレンジしていく。
- ③ 個々の職員においては、コロナ禍における経営者の感覚で予算編成に臨み、あれば尚よい、あるいは保守的な意識を廃し、不足した場合は「来年度の補正予算で対応していく」というくらいの強い覚悟で臨むこと。

3. 教育委員会予算編成の重点事項について

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. GIGAスクール構想推進 | ※ICT教育推進 |
| 2. 公共施設総合管理計画の推進 | ※学校施設の老朽化対応 |
| 3. 子どもの安心・安全 | ※大規模改修までの緊急対応工事 |
| 4. 学級数増への対応 | ※令和4年度の学級数増への対応 |
| 5. 働き方改革 | ※デジタル化の推進による教職員の負荷軽減 |
| 6. 中学校新学習指導要領開始 | ※指導用教科書の整備 |
| 7. 校長会からの要望対応 | ※トイレ洋式化、放送設備交換、非常勤養護教諭配置等 |

4. 工夫した点について

(歳入)

- ・保護者連絡システム導入による保護者負担金1/2の導入 約30万円(受益者負担の考え方)
- ・学校施設環境改善交付金の活用 約900万円(国庫補助金)

(歳出)

- ・学校配当予算等の経常的な費用については、一律7%カットとする。ただし、契約済み及び見積り徴収による費用は除く。 ▲約400万円
- ・小規模工事費、修繕料の減額 ▲約1,000万円

5. 見直し事業等について

- ・小学校指導用教科書減 ▲41,208千円
- ・高浜小学校等整備事業モニタリング業務委託料 ▲12,857千円
- ・外国人 英語指導助手派遣業務委託料の見直し ▲2,182千円
- ・コロナ禍が解消するまで中学生海外派遣を中止 ▲2,800千円

6. 新規・拡充事業について

(新規事業)

- ・高浜中学校プール改修工事費 105,600千円 ※老朽化対応
- ・高浜中学校トイレ洋式化工事費 70,752千円 4年間で整備 ※教育環境整備
- ・翼小学校空調機更新工事費 56,595千円 ※老朽化対応
- ・港小学校長寿命化改良事業実施設計等業務委託料 17,292千円 ※公共施設総合管理計画推進
- ・PCB処理業務委託料 9,674千円 ※処理期限
- ・港小学校倉庫設置工事費 5,940千円 ※建築基準法
- ・南中学校水泳指導等委託料 2,610千円 ※泳力向上、働き方、敷地有効活用
- ・デジタル教科書使用料 1,070千円 中学校2教科、小学校1教科 ※ICT教育推進
- ・保護者連絡システム導入業務委託料 605千円、同使用料 594千円 ※働き方改革、コロナ
- ・非常勤養護教諭配置 504千円 ※コロナ、学校運営
- ・教育基本構想アドバイザー謝礼 30千円 ※教育基本構想策定

(拡充事業)

- ・要保護及び準要保護児童生徒就学援助費 +4,770千円
- ・教育用タブレット等借上料 85,377千円
- ・教育用電子黒板借上料 25,061千円
- ・ICT教育支援員謝礼 5,600千円
- ※小学校教育用パーソナルコンピュータ及び学習ソフトウェア借上料 ▲20,000千円